

-Newspaper In Education-

# ながのNIEだより

2020年12月  
第37号



Newspaper in Education

発行 長野県新聞活用教育(NIE)推進協議会【事務局】〒380-8546 長野市南県町657 信濃毎日新聞読者センター内  
電話 (026) 236-3480 ファクス (026) 236-3193 Eメール nie@shinanoji.net

## 第16回NIEセミナー

信濃教育会顧問 後藤正幸氏が講演

# 「子どもの行為の行方を評価」

## 道徳教育やNIE語る

長野県新聞活用教育(NIE)推進協議会(会長 松本康・信州大教育学部教授)は11月7日、長野市の信濃毎日新聞長野本社で第16回長野県NIEセミナーを開きました。信濃教育会顧問で日本連合教育会会長の後藤正幸さんが「子どもの指し手感覚を育む」と題して講演。県内の教員など約30人が、会場やオンラインで講演を聞きました。

今年6月まで後藤さんが9年間会長を務めた信濃教育会は、

2007年からNIE研究調査委員会を設置。毎年度、県内の

の教員15人ほどが委員となり、NIEの

研究を進めています。後藤さんは講演で、NIEは子どもたちが考える力や生きる力を付けるのに適している、これまでの活動の手応えを話しました。

また、教員時代は道徳教育などにも携わった後藤さんは、子どもにとって学校が生活の場でなくなってきたという危機感を訴え、道徳がいつの間にか教科となり、一つのスキルに位置付けられてしまふことに懸念を示しました。

後藤さんは子どもを褒めるときに、「人物ではなく、行為の行方を評価すること」を意識してきたいといいます。例えば、「子どもから「バ



長野県新聞活用教育(NIE)推進協議会は23日まで、2021年度から2年間のNIE研究指定校を募集しています。指定校には協議会加盟の新聞社8社の新聞を一定期間無料で

提供。新聞を活用すること、教室での学びを実社会と結び付けたり、学習指導要領が求める「思考力、判断力、表現力」の育成に役立てたりすることができま

す。募集数は、県内の小学校2校と中学校3校。高校は東北信地方から1校です。NIEを実践する教員が2人以下の場合、加盟社の新聞1部ずつを各年度に2カ月分提供。3人以上の場合は同4カ月

分になります。指定校には、公開授業を年1回開いていただくほか、実践報告をしていただいています。2020年度は県内12校、全国で約600校が指定校として活動しています。申し込み、問い合わせは平日に同協議会事務局(電話026・2336・3480)へ。

# 21・22年度指定校を募集

## 23日まで 小中高6校